学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和６年の漢字

信

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより３５号
令和６年１月２２日発行
文責：校長・副校長

～一年後、どんな自分になりたいか
一年後、どんな学級になりたいか～

通いがいのある学校にしてほしい。通いがいのある学校にするためには「一年後、どんな自分になっていたいか」「一年後、どんな学級になっていたいか」などなりたい自分を考えましょう。そして、最終的には、「この学校・学級でよかった」と思えるように、自分自身が、同じ学級や学年の友達と積極的に関わりながら、明るく楽しい生活を送ってほしいと思います。

学校生活を明るく楽しく送るためには、時中のめざす生徒像にある「思いやりのある生徒」、お互いが思いやりの気持ちをもって接することが大切です。「心は誰にも見えないけど、思いやりは誰にでも見えます」というフレーズを聞いたことがあるでしょうか。ぜひ、みなさんには自分以外の人に対し、思いやりの心をもつ生徒になることを切に願っています。

第１学期始業式の校長式辞の時に、校長先生が生徒の皆さんに問いかけた言葉です。その一年が、あと２か月で終わりを迎えようとしている今、これまでの自分を振り返って、これまでの学級の様子を振り返って、自分が思い描いていた自分や学級に近づいてきているでしょうか？

時津中学校の学校教育目標は、以下の通りです。

磨かれた知性、しなやかな心、すこやかな体を持ち、将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒の育成。

磨かれた知性
- ○確かな学びに基づく、学ぶことの重要性への理解
- ○学んだことを活用して課題を解決する思考力
- ○主体的に学び、その成果を自己や社会の改善に生かそうとする態度

しなやかな心
- ○自己理解及び多様な価値観の認知
- ○人間尊重にかかる課題の解決に向けた思考力
- ○価値観の相違を超越して、協同しようとする態度

すこやかな体
- ○健康・安全が自己や社会に与える影響について
- ○健康・安全に係る課題の解決に向けた思考力
- ○健康増進や安全保持の実践的態度

校長先生が年度当初に示した目標、そして、学年目標・学級目標・教科の目標・個人目標などの小さな目標を達成するために努力することは、最終的には、この学校教育目標を達成し、成長するためのものなのです。さて、現時点で、各目標がどのくらい達成できているでしょうか？自分を見つめ直し、足りない部分は後の２か月でどこまで目標に近づけるか、達成している人は更なる目標は何かを考えて生活することが自分を高めることにつながります。そして、この力を付けることで、社会に通用する人間に成長するのです。

今一度、自分がどこまで達成しているか自己分析し、残りの約２か月で、少しでも成長していければと思います。

『今年の漢字一文字』

校長先生から今年の漢字一文字「信」が発表されました。「信は力なり」とも言います。良い一文字を考えてくださいました。そんな私の今年の漢字一文字は「健」です。自分の心と体が健康でないと何もできない、人を幸せにすることもできないと考えました。自分の漢字一文字を決めて、よしっと気合が入ったところに芦田愛菜さんの今年の漢字一文字の話題が耳に入ってきました。愛菜さんの漢字一文字は「慮」。『おもんばか（る）って読むんですけど２０歳になる歳になるので思慮分別のある人になりたい』とのこと。『配慮の「慮」でもある。友達や周りの人に気遣いのできる人になりたいと思います。』とコメントをしています。

皆さんは、今年一年間を漢字で表すとどんな漢字が浮かびますか？